



株式会社桐生明治

良い製品を早くそして安く
NC自動盤加工を軸に
高精度部品の少量多品種も



太田市

住所 太田市吉沢町929-1
TEL 0276-55-8383
Mail t-kawasaki@k-meiji.jp
URL https://k-meiji.jp/
代表者 川中子 雅夫
設立 1980年7月1日
資本金 1,000万円
従業員 96人

WEBサイト



企業紹介

当社は桐生市広沢町にて川中子製作所を昭和42年にスタート、高精度・高品質を求められるNC自動盤加工を軸にシャフトや精密部品を手掛け、近年では難削材や高精度部品の少量多品種にも挑戦してまいりました。平成29年に川中子雅夫が代表取締役社長に就任したのと同時に新工場「太田事業所」を立ち上げ、社名を「株式会社桐生明治」に変更しました。若手の育成と技術向上・品質安定に力を入れています。より多くのお客様に愛されるよう社員一丸となって「良い製品を早く安く」をモットーに一歩一歩前進していきたいと思えます。

経緯・背景

経済産業省、厚生労働省、文部科学省の3省が2021年5月に公開した「2021年版ものづくり白書」では、ニューノーマル時代で製造業が生き残るための3つのポイントを「レジリエンス」「グリーン」「デジタル」としています。

日本の製造業は、この3つを軸としたさまざまな取り組みが求められているため、当社でも取組を始めました。

「困った」に寄り添い解決 社員の成長と幸福を糧に より良い製品づくり

具体的な取組・成果

当社では、従業員一人一人が企業活動とSDGsのつながりを理解し、普段の業務のなかで取組を実践しています。

●技術とともに社員と家族を守る会社

技術は、人を助け向上させ身を守ります。社員の向上こそ会社の発展につながります。社員の生活の向上とその家族の幸せの根源は、良い製品づくりへつながっていきます。社内や社外の技術や精神を学び、継承し、魅力のある会社として人種も男女も問わずみんなが目標となる会社を目指します。

- ・人事評価制度による業績目標と個人目標の達成



多くの特定技能実習生が在籍

●カーボンニュートラルをつくり出す会社

当社は、技術の向上により、「高精度製品」～「気密性の向上」～「低燃費」～「走行距離の向上」へとつなげ、カーボンニュートラルに関与する高精度製品を試作から量産まで、効率の良い製品をつくります。不具合品や全ての廃棄品の撲滅を目指します。

- ・不具合撲滅
- ・外観検査自動化（工程内不良低減）
- ・梱包資材の削減
- ・太陽光設備増設
- ・外観・寸法検査の自動化



高精度製品

●顧客の「困った」を「良かった」に変える会社

顧客の困りごとや相談に寄り添い解決するために、社員一丸となって取組を考えます。社員は試行錯誤してやり抜き、そこに気づき生まれ向上していきます。顧客の「ありがとう」を喜びや生きがいを感じることで、心が豊かになり幸せに導きます。全ての人に豊かさを与える会社を目指します。

- ・高精度な製品づくりができるオペレーターの育成

●魅力あるリーディングカンパニー

気密性の高い工場に整然と並ぶ最新の精密機械とともに、安心安全な作業環境で高精度製品をつくり続けます。「地域社会の発展を少しでも手助けしたい」そんな会社を目指し、環境配慮と法令順守を基本とした、精密切削加工のリーディングカンパニーを目指します。

- ・社内技術大学（KMSU）によるキャリアアップ推進
- ・製造現場の「見える化」推進
- ・ISO9001、IATF16949（車載向け認証規格）、EA21の取得



機密性の高い工場に並ぶ精密機械

当社にとってのSDGsビジョン

当社は、国連が掲げた持続可能な開発目標「SDGs」を経営理念及び方針の行動基準に取り入れ、社員一人一人の教育を推進します。また、社員の家族や顧客、地域社会からの信頼を得られるよう技術を発展させ、環境に配慮した製品をつくります。付加価値を高めて地域社会の雇用を創出し「SDGs」の目標達成に貢献してまいります。

今後の展望と求めるパートナー像

長年積み上げてきた技術力には絶対の自信を持っており、顧客要求を満たし社会に貢献できることが喜びです。顧客の困ったを良かったに変える会社であり続けます。